

体指活動を振り返って (永年勤続者から)

相澤 孝志

(前・瀬谷区体育指導委員連絡協議会 会長)



体指生活26年間、また、平成13年度からは4期8年間に渡り会長職を勤めさせていただきました。長い間、皆様の暖かいご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

皆さんと数多くの行事に協力し、懐かしい思い出一杯です。W杯サッカー日韓大会、横浜国際女子駅伝での雪中での沿道警備、横浜市体育指導委員制度制定50周年記念行事への参加等、数多くのシーンが浮かびます。

区協議会の活動では、企画・研修の2部会制を広報を加えた3部会とし、休刊していた「体指だより」を復刊しました。これにより区民への広報活動が促進され、体育指導委員相互の交流が進み、意識を高める一助となったのではないのでしょうか。

企画活動部会による「瀬谷ふるさとウォーク大会」も昨年度で17回となり、毎年800名程の参加者が集まる瀬谷区恒例行事に発展しました。区民の健康増進とスポーツへの参加意識を高めることに役立ったことと思います。

研修部会では、「AED救急救命研修会」や体育理論と実技を一日かけて学ぶ「一日研修会」など、研修の充実化に取り組みました。

これらは、各部会を構成する正副地区会長ほか体育指導員各位の意欲と情熱によるものです。

体育指導委員は、区民の体力維持と健康増進を目標に、地域のスポーツ・レクリエーション活動の推進に中心となって活動する役割を担っています。これからも各団体と協力し、区民の皆様のため、より一層の活躍を願っています。

平成27期 地区会長紹介

よろしくお祈りします！

阿久和北部	飯沼 宏氏	(会計)
阿久和南部	土居 義彦	(区副会長)
三ツ境	細井 芳明	
瀬谷第一	芝本 好夫	(監事)
本郷	兼田 治彦	(区会長)
瀬谷北部	高橋 友幸	(区副会長)
瀬谷第二	千葉 瑞夫	(監事)
細谷戸	羽生田 森雄	
瀬谷第四	菅 芳則	
南瀬谷	東 親宏	
宮沢	小倉 芳美	
相沢	山宮 一清	



おめでとうございます！

平成20年度表彰受賞者

横浜市体育指導委員永年勤続者			
25年	細井 芳明		
20年	臼井 美智子	荻澤 千秋	鈴木 敏夫
	松木 俊朗	松田 正晴	
15年	千葉 瑞夫		
10年	飯沼 宏氏	石井 輝男	遠藤 勇
	後久 康明	佐々木 好美	手塚 浩章
	真下 弘		

横浜市体育協会「横浜スポーツ表彰」 相澤 孝志
瀬谷区体育協会「体育功労者表彰」 安田 克之

編集後記

■第4号の中心記事は、2月に開催された「第17回瀬谷ふるさとウォーク大会」。うららかな春の日差しに恵まれた大会の雰囲気が見開きページから伝わってくるでしょう！？まだ未体験のあなた、来年は是非ご参加下さい。

■第26期の広報部会が発行するこれが事実上最後の「Let's sport!」です。アツという間の2年間！思えば手探りの創刊でした。平成19年10月発行の第1号は色上質紙にモノクロ刷り。今から見てもなんと味気ない、ツヤのない紙面！……だけど広報部会メンバー12名が力を合わせ、苦労を重ねた創刊だったのです(感涙)！！平成20年5月の第2号以降は、コストダウンを計りながら、なおかつコート紙4色刷り。これが定番スタイルとなりました。

■5号以降の編集は第27期広報部会に引き継がれることになります。これで“卒業！”……と、思ったら、残留組もいるんですよ。まあ、新型インフルエンザに気をつけながら頑張りましょ。(酒井)



瀬谷区承認第11号

第4号



瀬谷区体育指導委員だより

Let's sport!



発行日 平成21年5月18日
発行 瀬谷区体育指導委員連絡協議会広報部会
事務局 瀬谷区地域振興課 TEL367-5697 Fax367-4423

体育指導委員とは？

スポーツ振興法並びに横浜市体育指導委員規則に基づき、横浜市長から委嘱された特別非常勤公務員です。スポーツ行政の推進者として、地域に根ざしたスポーツ・レクリエーションの振興事業を展開していく役割を担っています。



【さわやかスポーツの普及】



【AED救急救命研修会】



【スポーツと安全管理講義】

スポーツの普及
&
研修会

体指活動に寄せて



瀬谷区長 関 寛

体育指導委員の皆様には、地域のスポーツ、レクリエーション活動をはじめ、様々な行事で地域の核としてご活躍いただいていることに心から感謝申し上げます。

「横浜マラソン」や「横浜国際女子駅伝」の運営協力など、横浜市の体育振興に大きく貢献いただいておりますが、「ふるさとウォーク大会」等の地域に密着した行事では、体育指導委員の皆様のご尽力はなくてはならないものです。瀬谷区の体育指導委員の皆様が一丸となって、運営を支えておられるおかげで、多くの区民の皆様が安全に楽しくスポーツを楽しむことができます。

また、今年は瀬谷区が誕生して40周年。これを契機に、区民の皆様がスポーツを通してより生き生きと充実した生活が送れるよう、そして、従前にもまして、年齢・性別等に応じて地域の中で誰もが気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できるよう、皆様のなご一層のご尽力をよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

第27期瀬谷区体育指導委員連絡協議会

会長 兼田 治彦



この度、第27期体育指導委員連絡協議会会長に就任いたしました兼田治彦です。

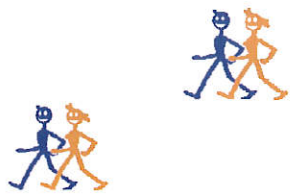
今期、体育指導委員154名が気持ちも新たに活動をスタートしました。

今年は、区制40周年・開港150周年の節目を迎えます。これらに伴い、「世界卓球選手権横浜大会」、「横浜国際トライアスロン大会」、「横浜国際女子マラソン大会」等、多くの国際大会が開催される予定です。私たち体育指導委員は、これらの大会について「運営協力」という重責を担っております。

また、瀬谷区体育指導委員の最重点事業である「ふるさとウォーク大会」があります。区制40周年を捉えた事業内容にしたいと思っております。

地域のスポーツ・レクリエーション推進の担い手として、皆様のお力添えをいただきながら、地域スポーツ普及に努力してまいりますので、今後ともご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

第17回 瀬谷ふるさとウォーク大会 2年ぶりに開催！！



湘南の陽光に包まれて……ゴールはもう真近！

2月8日(日)、第17回瀬谷ふるさとウォーク大会(主催:瀬谷ふるさとウォーク大会実行委員会、共催:瀬谷区役所、瀬谷区体育指導委員連絡協議会)が「春の予感・湘南のんびりウォーク」のサブタイトル通りの好天のもと、「六会コース」「江ノ島コース」の2コースに759名の参加者を集めて盛大に開催されました。

■759名が元気イッパイに

思い起こせば昨年の大会は史上初の積雪による中止。今年は打って変わって春陽うららかな絶好のハイキング日和となりました。
12kmの六会コースに340名、24kmの江ノ島コースには419名の区民がエントリー。二ツ橋公園での受付・開会式のあと、8時20分に江ノ島コースから順次スタートしました。



気温4℃の中の開会式
関・瀬谷区長も元気イッパイ



それでは行ってきます！
江ノ島コースの出発

■気持ちよく歩ける河川コース

六会コース・江ノ島コースとも瀬谷区を縦断するように和泉川に沿って一路南下します。六会から更に下っていく江ノ島コースは引地川に沿って鵜沼海岸に至る田園・河川コース。
水が温み始めた和泉川や引地川では鯉やフナ、越冬中の鴨、時にはルリ色も鮮やかなカワセミの姿を見ることができます。
また絶好のお弁当ポイントとして参加者に親しまれている引地川親水公園は、暖かい日差しのもと紅白の梅が丁度満開、ほのかな香りを振りまいていました。



「昨年の中止は残念だったけど、今年は好天でよかったね」と、東野在住の大槻さんご夫妻も軽快な歩み



一路南に、引地川の流れに沿って

■富士山と相模湾を一望

にぎやかに歩き続ける参加者の右手には、真っ白な富士山が春霞のなかにぼんやりと見え隠れします。
東海道線をくぐって鵜沼橋までくると、突然目の前にドーンと太平洋が。なだらかに弧を描く相模湾の右手を見渡せばエボシ岩から真鶴半島そして雄大な富士山。左手には緑の江ノ島が大きく迫り、もうゴール真近であることを劇的に実感させてくれます。あとは海岸沿いの遊歩道を一直線。湘南の海はキラキラ輝きながら皆の到着をやさしく待っていてくれました。



長久保公園の菜の花に誘われて……
下瀬谷第2地区連合婦人部・横田千代子(島倉千代子の千代子よ……だって)さんご一行



引地川親水公園で仲間の体をほぐす宮沢在住の前田さん

来年は是非！あなたも一緒に歩いてみませんか？

■ステキな一枚(その1)

相沢在住の小林さんご家族。4人と友人で参加。(今回のウォークで7回目)「鳥や植物を観賞しながらのんびり歩きました。途中カワセミを見ることができてラッキーでした。」「今回は天気もよく気持ちよく歩きました。孫と一緒に歩けるので、毎年楽しみにしています。」とコメントをいただきました。



次回もぜひ家族で参加！

■ステキな一枚(その2)

阿久和西の武藤さんご家族は、4人で参加。(今回のウォークで7回目)「今回から、コースもちょっと変わり楽しみにしていました。天気もよく道中は車の通りも少なく、気持ちよく歩くことができました。次回も楽しみにしています。」
次回もぜひご参加くださいね！



みんなで記念写真♪



見事な紅梅・白梅



カモものんびり~



実行委員長あいさつ



昨年、降雪で中止しただけに、今年の参加者には2年分楽しんでもらいました。
新設した川沿いののんびりコースも皆さんに喜んでいただけたようですし、けが人もゼロ。主催者としてホッとしています。

瀬谷ふるさとウォーク実行委員
【体育指導委員企画活動部会員】

実行委員長(部会長)
宇佐美 正(三ツ境)

副実行委員長(副部会長)
高橋 友幸(瀬谷北部) 金澤 凱夫(南瀬谷)

飯沼 宏氏(阿久和北部) 大沼 真一(阿久和南部)
木俣 啓一(瀬谷第一) 川口 政和(本郷)
荻澤 千秋(瀬谷第二) 中野 末廣(瀬谷第二)
小出 洋一(細谷戸) 佐藤 昭(瀬谷第四)
鈴木 浩(宮沢) 山宮 一清(相沢)

『横浜国際女子駅伝』 地元の方々に惜しまれながらファイナル！

世界及びわが国の女子長距離・マラソン選手の育成を目標に始まった「横浜国際女子駅伝」。1983年から開催され今回で27回目を迎えました。体育指導委員が沿道整理という形で運営協力に携わり、私たちの年間行事の一つとして組み込まれていましたが、この大イベントも今回で終了となりました。
第1回大会はソ連チームが優勝し、日本チームは4位でした。その後ソ連からロシアにチーム名が変わり、優勝回数9回、日本チームは順次力をつけ、昨年まで優勝回数9回、大会ファイナルの今年日本チームは1区から6区まで常にトップを走り、10回目の優勝を成し遂げました。
これまでに参加した国数は日本を含めて39カ国と多くの国の女子長距離選手が参加しました。その中には、クリスチャンセン、モタ、デッカー等の有名選手の参加もありました。
この大会の果たした役割は計り知れないものがあります。今回の沿道整理に参加した折にも地元の方々の多くから「この大会がなくなるのは非常に寂しい」との声が聞かれました。
21年度からは別の大会が計画されております。是非この大会同様、意義ある大会になることを切に祈念します。

『横浜国際女子駅伝』の関係者の皆様、
ご苦勞様でした！

